

正論

私が常に心掛けていることの 하나가、『相手を追い詰めない』ことです。どんなに自分が正しいと確信できる場合でも、相手の言い分に多少の譲歩をしないと物事の本質が最上位からはずれてしまいます。そういう意味では、どんな正論でも100%の正論は存在できないのかもしれませんが。どこかに相手の異論を取り込む配慮があってこそ、正論の中の真ん中にある『核論』が生きるのだと思うのです。

正しいか間違いかは2極化した結論でしかありません。○と×は○と×でしかないのですが、これを黒と白に置き換えて考えてみましょう。黒と白の2色を対局化して考えるのでは無く、左端の黒が右端の白になるまでなだらかに変化していくようなイメージを持つと、徐々に白に近づいていく『過程』が存在します。真ん中はほぼほぼ灰色化していて、黒でも白でもない『グレーゾーン』となるはず。あくまで真っ黒にこだわるならば、白の入り込む余地は生まれません。つまり異論が存在できないのです。

完全なる正論は、このように異なる存在を排除してしまう危険と隣り合わせなのです。そうすると、物事の正誤より完全に排除された傷つきの方が相手を追い込んでしまうものです。なので『相手を追いつめない』ことを私はとても大切に考えています。

相手を追い詰めないということを、もう少しわかりやすく表現すると、『相手の逃げ道を残す』ことだと思います。徹底的に追い詰めると最後はとどめを刺さなければならなくなってしまいます。とどめは、刺された方も刺した方も苦しいものです。自分が正しいと思えばこそ、相手の言い分にうなずく余地を残す配慮が必要なのです。いろんなトラブルは『落としどころ』と言う緩衝地域がないがために長引いて無用にお互いが傷つけあってしまうもの。相手にも自分にも逃げ道があることが肝要です。

【来週の予定】

日 曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
26（月）	全学年	月①	月②	入試会場設営		放課後		
27（火）	全学年	専願入学試験						
28（水）	全学年	合否判定会議						
29（木）	全学年	火①	火②	火③	火④	木⑤	木⑥	火⑦
30（金）	全学年	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	

mamas café 来週の日替わりランチ

2 6 日（月）	2 7 日（火）	2 8（水）	2 9（木）	3 0（金）
ハンバーグ サラダ スープ	店休日	店休日	鮭の香味ソース ひじき煮 スープ	肉豆腐 ナムル みそ汁

【今日のいいね】



私は飛行機に乗る際はできる限り後ろの席を選ぶようにしています。今週月曜日の東京出張は一番後ろの座席をゲットすることができ、すぐ隣のCAさん用の写真の男性CAさんとにこやかに談笑することができました。

そしていざ飛行機を降りる際に、なんとこの方が宮崎の私の母校の後輩であることが判明し大いに盛り上がりました。まさかの偶然がこんな出会いにつながったのです。

『同窓生』とは、このように社会に出ても繋がりがあえる存在なのです。世代を超えてお互いを励ましあえるのは本当に素敵です。そんな素敵な学校でありたいと強く思いました。